

「子育て応援特別手当」の執行停止について

政府は、補正予算削減、執行停止の一環として、「子育て応援特別手当」の凍結を決めたとされる。

既に市町村においては、関連予算を議会で議決するなど、所要の準備を進めている中での、突然かつ一方的な停止は、啞然とするばかりで、到底容認できるものではない。地域主権を謳う鳩山政権として決して行ってはならない乱暴なやり方であり、国が決めたから地方はそれに従えという姿勢は極めて遺憾である。

手当の突然の支給停止は現場に著しい混乱を招くだけではなく、対象世帯からの苦情、非難は市町村に集中する。市町村が実施責任を負っている多くの厚生行政は、国と地方との信頼・協力関係を基礎として初めて成り立つものである。今回の措置はこのような信頼関係を著しく損なうものであり、今後の厚生行政に消しがたい汚点を残すものであることを銘記されたい。

平成21年10月15日

全国町村会

会長 山本文男